

ロベリア・アナベル (栄養系ロベリア)

*科名：キキョウ科 *属名：ロベリア属

*性状：多年草（半耐寒性） *原産地：南アフリカ

- 単にロベリアというと一年草のロベリアが普及していますが、このロベリア・アナベルは栄養繁殖系のロベリアで耐病性、耐雨性に優れています。また、分枝も良く生育も旺盛で一株でも見応えのある株になり、初夏の頃まで十分に観賞できる品種です。



アナベル・ブルースカイ



アナベル・ブルーロマンス



アナベル・ホワイト



アナベル・レーク

【販売店様へ】

今春から生産を始めた商品で、規格は10号の見本鉢と3.5号の花付きポット苗を併せて3月上旬より販売を開始～4月まで販売し、店頭でのお客様の評価も高く良く売れた商品です。そこそこの耐暑性も備えていると聞いていたのですが、8月に入った今でも、まだまだ、綺麗に花を咲かせています「ひょっとしたら、このまま、12月まで、咲くのでは？」といった感じです。生育旺盛で、分枝も良く、花付きも抜群です。春はこのシリーズは4色で

の販売でしたが、今秋よりその他 2 色 (ラベンダー、ミステイブル) の試作もしています。どの花色もクリアで清楚な感じです。また、早春から初夏だけの販売でなく秋から初冬にかけても販売して頂ける商品だと思います。

置き場所として 3 月中は霜除けさえすれば、かなりの寒さまで耐えられますので、日中は戸外の日当たりの良い場所に置いてもらい、夜間だけ軒下に取り込むようにしてください。比較的、乾燥にも強いので水遣りも容易だと思います。

11 月上旬 (最低温度 : 5℃) くらいなら戸外で大丈夫です。11 月以降も霜除けさえすれば、大丈夫！！

【購入されたお客様へ】

今年から新しく発売されたロベリアでまだ、とにかく生育旺盛で花付きも抜群です。早春から初夏のコンテナ植え、寄せ植えにはとても扱いやすく、管理も簡単です。また、夏は花もひと休みしますので、7 月中旬に刈り込んでおくことで、秋には、また、たくさんの花を咲かせます。初冬にかけて、霜除けできる軒下でしたら、充分、観賞できるはずです。水遣りは 3 月中は少し控えめに与えてください。4 月から 6 月にかけては乾いたらたっぷりと与えるようにします。肥料もそれ程、多くは必要としませんが、2 週間に一度くらいは液体肥料を与えるとよいでしょう。肥料を与えすぎると、株が軟弱になり、倒れやすくなったり、花数も減少することがあります。

・・・・・・今後、さらに詳しい管理方法は解り次第、随時、鳥山ガーデンのホームページで紹介していく予定ですので、お楽しみに！！

鳥山ガーデンのホームページ <http://www.toriyama-garden.com>